

神と仏と祭

昔はオギャと生れた土地の鎮守の神様が氏神様で氏神様はその子の一生の厄を払ってくれお守りをしてくれる神様だと大切にされてきました。神は人間を超越した威力者でめいめいの間に存在して不可思議な能力を有し人類に禍福を降ろすと考えられ畏怖されている霊であると言われていきます。祭礼は御輿にご神体(霊)を乗せ氏子の住む町のすみずみまで厄を払い福を来させるように御輿を振り払いながら渡行して歩くのです。

ある雑誌の統計では日本人の8割強の人が神社仏閣に初詣に出かけ、お盆には檀家寺に墓参りに行くと書かれていました。しかし、その参拝する多くの方々はその神社の名前も知らず、自分の寺のご本尊の名前も知らないのが普通ですね。でも、神や仏は人間の禍福をつかさどる計り知れない力を持つていることは判っているので神社や仏閣に色々な祈願をします。その内容は色々であり、商売繁盛・開運厄除・家内安全・必勝祈願など厄を除いてもらって幸運が開けてくれることを人々は強く願っているのです。

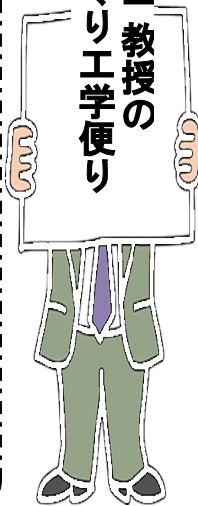
厄とは、災厄・悩み・苦しみであり生きていく以上避けることはできません。個人としては、病気や事故による肉体的苦しみであり、社会的には戦争や不景気、自然としては地震や津波や火災など次々と新しい厄が出てきて厄除けの願いは減らないですね。

厄と運とは並んでついて来るものです。運も厄も人間の知人力ではどうしようも出来ないから、人の知力を超えた力のあるものの力を借りること、それが厄除けの願いであり、開運の願いとなるのです。しかし、現代の日本人の8割弱の人々は神も仏も信じないといわれております。でも、神様を仏様を信じて下さい。「かたじけなきに涙こぼれる」ですから。

☆六郎が語る☆ 南千住一口話 特別編 第116回

南千住の鎮守は素盞雄神社・三河島の鎮守は宮地稲荷神社・町屋の鎮守は原稲荷神社・尾久の鎮守は八幡神社・日暮里の鎮守は諏方神社で、その他に南千住の汐入の鎮守は大六天「胡録神社」で橋場の鎮守が石浜神社、日枝神社は中村町の鎮守でした。奈良時代から神道と仏教が融合していたのですが、明治元年(1868)の神仏分離令によって廃仏毀釈運動が起り、寺院や仏像が焼かれたり売却され文化財が無くなりましたね。平成23年5月発行の原稿を再掲載致しました。

吉田喜一教授の ものづくり工学便り



去年の直木賞の舞台は千駄木

産技高専名誉教授 吉田喜一

21年の直木賞は西條奈加の『心淋川』
『うらさびしがわと読む』だった。その一説を紹介する。

『…この千駄木町の一角は、心町(うらまち)と呼ばれていた。…寺社領の北縁に沿って、“どぶ川”が吉田記)西から東へと流れ、やがて愛染川と合流する。愛染川は南へと進み、流れは上野の不忍池に行きつく。…』

このどぶ川沿いの棟割長屋で暮らす、江戸時代の庶民の“もがき”を6話で描いている。私が子ども時代に住んだ日暮里の隣町なので、場所を想像しながら読むのも面白かった。愛染川は今のよみせ通り(夕焼けだんだんを下ったところ)である。

西條奈加は1964年北海道生まれである。読者をぐいぐいとそして静かに、吸い込ませる筆致はさすが直木賞作家と思わせる。最近の芥川賞は面白くないが、直木賞は毎年楽しみである。



物価の上昇が続いていますが…

消費生活
アドバイザー
佐藤祐一郎

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。皆さまもご存知のように、世界の情勢、為替、コロナ禍、天候など様々な要因で、あらゆる物価の上昇が止まりません。ガソリン、電気、ガス、紙製品、冷凍食品、玉ねぎ、インスタント麺…つい先日にはビールやカレーなどの値上げが大手メーカーから発表されました。残念ながら日本においては、諸外国のような金利や賃金の上昇がそれほど起きていないこともあり、不況下のデフレから一転、物価だけが上昇する現状となつてしまい、私も困惑しています。

当店を取り扱っているメガネ関連製品においても、このところ少しずつ卸価格の改定がアウンスされるようになってきました。メガネは視力補正や色覚補正に欠かせない生活必需品、医療器具です。必要とされる方にこれまでと同じ価格でご提供できるように、当面は徹底して無駄を省き、工夫したいと思います。例えば、懸念される夏場の電気料金(再エネ賦課金もあつて、本当に高いですね!)を抑えるために、照明を落としたり、一部の時間帯に限ってご来店「完全予約制」を取り入れ、営業時間を見直したりすることも検討しています。なお、最新の情報につきましては、当店ホームページ、またはTwitterをご覧下さいませ。「公式 メガネのサトウ」のキーワードで簡単に検索できます。電話によるお問合せも喜んで承ります。



■メガネのサトウ ■ <https://megane-sato.com>
南千住5の43の13 【東京新聞並び】
TEL 03 (3806) 4930

★休業日のご案内★

5月6月 …毎週火曜日は、定休日です。

★営業時間のご案内★

平日(月~金) …午前9時~午後6時30分
土休日 …午前10時~午後5時